

2020年度 事業計画

1. 多文化共生理解促進事業

新たにビデオ会議システムを活用し、年間で50以上の団体・地域で研修会等を実施し、2,000人以上の方に多文化共生への理解を深めていただけることを目標に取り組んでいきます。



1) 研修・コンサルティング事業

多文化共生に関する研修会等に講師を派遣。
自治体等による多文化共生関連会議等に委員として参画。

2) セミナー・イベント企画運営事業

多文化共生に関する他団体主催のセミナーやイベントの企画・運営に協力。

2. 外国人住民の社会参画促進事業

外国人住民が、多文化共生に関する事業の企画段階から参画し、その後の運営に携わることができるような体制づくりや人材育成、情報発信等に取り組んでいきます。



1) NEW 官民連携による多言語相談窓口体制強化事業

(トヨタ財団助成事業)

愛知県内の自治体・国際交流協会・NPOと連携し、多言語相談体制の充実を図るための検討会や調査等を実施。

2) NEW 帰国困難者への生活支援事業

(赤い羽根募金・READYFOR助成事業)

新型コロナウイルス感染症の影響で帰国困難になっている外国人を受け入れている団体と連携し、食糧提供や行政手続き等帰国までの生活を支援。

3) 外国人コミュニティサポート事業

外国人主体のNPOに対する運営や各種相談対応、事業協力等。

3. 多文化共生社会づくりに関する情報及び人材のネットワーク構築事業

従来からのウェブサイトを通じた情報発信に加え、新型コロナウイルス感染症対策に取り組む愛知県内のNPO等との連携を強化し、情報共有や協働事業の推進を図っていきます。



1) NEW あいち新型コロナ対応ネットワーク

愛知県内の新型コロナに関する外国人支援団体等のネットワーク構築。

2) ウェブサイトによる多文化情報発信

HPやblog, SNSで多文化共生に関するニュースやイベント案内等を紹介。

2020年度 事業計画(案)

4. 「外国につながる子ども」の健全育成に関する事業

発達障がいのある外国人の子どもの支援体制を構築することを目標に、「仕組みづくり」、「環境づくり」、「人材育成」に取り組んでいきます。



- 1) 「外国人の子ども × 発達障がい」支援のためのライフコースマップ作成事業(ドコモ「市民活動団体助成事業」助成金)
発達障がいのある「外国にルーツを持つ子どもたち」のライフコースマップを紹介する報告会の開催。
- 2) 「外国人の子ども × 発達障がい」通訳・翻訳に役立つ資料集作成事業(「東海地域NGO活動助成金」助成事業)
発達障がいのある「外国にルーツを持つ子どもたち」の支援に関する学習会及び作成した資料集を紹介する成果報告会の開催。

5. その他、上記の目的達成に必要な事業

例) 多言語通訳・翻訳コーディネート、先進事例視察コーディネート、ボランティアマッチング等



NPO法人ボラみみより情報局様を通じて、企業様より帰国困難者にマスク2,500枚をご寄付いただきました。